なっとくんの

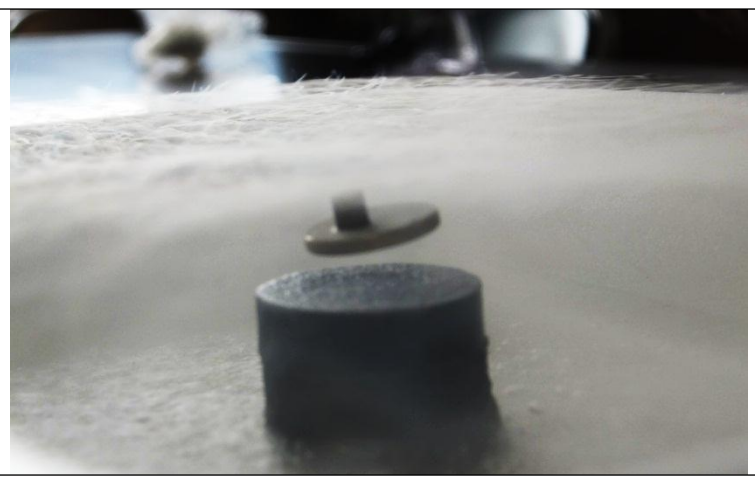
なるほどなっとくニュース

県立山口博物館学校連携担当

２０１３年６月１０日 No.4

袋の中の液体は酸素です。少し青色です。

フラスコの中に風船が・・どうしてこんなことに？



ちょうていおん　せかい
超低温のふしぎな世界

ひ　ひ　あつ　きょう
日に日に暑くなってきました。そこで今日はとっても「すずしい」お話（はなし）です。

やまぐちけんない　ひ　わたし　せいかつ
山口県内で日ごろ私たちが生活しているときの気温（きおん）は、寒（さむ）くてもマイナス１０℃からせいぜい４０℃までぐらいですが、それを一気（いっき）にマイナス１９６℃以下（いか）まで冷（ひ）やしてしまうと、どうなるでしょう。

空気（くうき）（空気（くうき）は、主（おも）に酸素（さんそ）や窒素（ちっそ）でできています）も液体（えきたい）になるような超低温（ちょうていおん）では、ふしぎな現象（げんしょう）がたくさんおこります。写真（しゃしん）は液体窒素（えきたいちっそ）の実験（じっけん）ですが、ドライアイス（二酸化炭素（にさんかたんそ）の固体（こたい））でもいろいろ楽（たの）しめますよ。

UFO？　ではないけど磁石（じしゃく）が浮（う）いている！

上（うえ）の写真（しゃしん）は「超伝導（ちょうでんどう）（超電導（ちょうでんどう）とも書（か）きます）」によって起（お）こる現象（げんしょう）の１つです。超低温（ちょうていおん）では、電流（でんりゅう）や磁石（じしゃく）の性質（せいしつ）が日常（にちじょう）の生活（せいかつ）のときとかなりちがってしまい、ふしぎなことがたくさんおこります。このような性質（せいしつ）を利用（りよう）して、電気（でんき）エネルギーのムダを減（へ）らしたり、病気（びょうき）をなおす機械（きかい）をつくったりするなどの研究（けんきゅう）がすすめられています。リニアモーターカーもその１つです。

カエルシリーズ　第4弾！

梅雨（つゆ）に入（はい）って、いよいよモリアオガエルの産卵（さんらん）シーズンになりました。これは山口市内（やまぐちしない）のある場所（ばしょ）で６月（がつ）1日（にち）に見（み）つけた卵塊（らんかい）ですが、下（した）に池（いけ）があり、オタマジャクシは池（いけ）に落（お）ちて生活（せいかつ）します。でも池（いけ）にはそれをねらうイモリが・・。